人生を輝かせる山登りのススメ(第60回)

登山道具のお手入れ:シームレステープの張り替え

2020.05.15

新型コロナウイルス対策の外出自粛要請は山の世界にも大きな影響を与えています。4月20日には山岳4団体から山岳スポーツ愛好者に自粛を求める声明(※)が出され、この記事を執筆しているGW中も、どこにも出掛けず自宅で過ごしているアウトドアファンが多いことでしょう。
※http://www.jfmga.com/pdf/sangaku4dantai_seimei.pdf

新緑や花々がきれいで、陽気もいいこの時期に山へ行けないのはとてもつらいことです。でも、家にいる時間の長い今こそ、山道具の集中メンテナンスをするチャンス。登山靴やバックパックの汚れを落としたり、撥水(はっすい)スプレーをかけたりといった日ごろのケアに加え、もう一歩踏み込んだ手入れをしてみてはいかがでしょうか?

家にいる時間を使って山道具の手入れをしましょう

シームレステープってなに?

今回は、普段はなかなかできない道具の手入れの1つ、テントのファスナー部に使われているシームレステープの張り替えをしたので、早速ご紹介します。

手元にある山道具のうち、レインウエア、スタッフバッグ、バックパック、ゲイターなどの縫い目の裏側を見てみてください。ウォータープルーフ対応であれば、幅2センチほどのテープで目止めがされていることと思います。これがシームレステープ(シームテープともいう)で、撥水・防水加工された製品の縫い目から雨水などが侵入するのを防ぐために使われていて、登山用品には欠かせない物です。

ところが、テープは生地に比べて劣化しやすく、数年使っていると　がれてきたり、ボロボロになって落ちてしまったりすることも。本体はまだ十分に使えそうなのに、ここから水が入ってきてぬれてしまう、といったことがあります。中古のリサイクル店なら目で見て確かめることもできますが、個人の取引が増えている昨今、売買するなら気を付けた方がいいパーツの1つでしょう。

私が使っているテントは5〜6年前に新品で購入した物ですが、先日、久しぶりに広げてみたら、ファスナー部に使われているシームレステープが　がれかけていました。白く浮き上がり、所々欠落しています。これでは雨の侵入を防げそうもありません。新しい物に張り替えることにしました。

テントのファスナー部、劣化して、がれかけたシームレステープ

シームレステープをきれいに、がす… 続きを読む